

7月のはりま読書の会で紹介された本

書名	著者	請求記号
開高健夢駆ける草原	高橋 昇／著	910.2タ
オーパ、オーパ!!	開高 健著，高橋 昇写真	
クロミの『歎異抄』	朝日文庫編集部編	
源氏姉妹（しすたあず）	酒井 順子／著	913サ
紫式部の欲望	酒井 順子／著	913サ
あさきゆめみし 1～7	大和 和紀／著	YA 726ヤ 1～7
つまらない住宅地のすべての家	津村 記久子／著	Fツム
流浪の月	凧良 ゆう／著	Fナキ
帆神	玉岡 かおる／著	Fタマ
バッテリー 1～6	あさの あつこ／〔著〕	YA Fアサ 1～6
月の影 影の海上・下（十二国記 [1-1・2]）	小野 不由美／著	YA Fオノ 1・2
死神うどんカフェ 1号店 1杯目	石川 宏千花／〔著〕	YA 91イシ
ことばの番人	高橋 秀実／著	749タ
みんなの校正教室	大西 寿男／著	749オ

～ 読書会 memo ～

本日は初めての方やお久しぶりの方なども参加され、5名＋スタッフでの会となりました。
最初に旅行好きの方が紹介された開高健さんの本は、モンゴルやアラスカでの釣りの様子など、同行の写真家が撮影した写真が世界への旅情を誘います。

『クロミの『歎異抄』』は、親鸞の教えが記された『歎異抄』のエッセンスが学べます。サンリオキャラクターのシリーズで他にもたくさん出ていると教えてもらいました。

また、『源氏姉妹』『紫式部の欲望』では源氏物語について「紫式部は光源氏より女性について描いている」「人物の心情や描き分けがすごい」と盛り上がりました。「光源氏がチャウイだけの話かと思っていたら最後は宗教的な深い物語になる」と聞き、何度か挫折していた私も再チャレンジしてみようかと感じました。

『つまらない住宅地のすべての家』は、事件が起こるものの完全に解決するのではなく、希望が見えて終わるような物語。ヒリヒリする心理描写はなく、穏やかで少しとぼけた作風が魅力的です。

『帆神』は加古川在住で高砂にもルーツのある玉岡かおるさんの作品。高砂で北前船の帆を改良した工楽松右衛門についての歴史小説です。多くの人々に知られていなくても、様々な功績をなした知られざる偉大な人々が各地には存在しているのだなと感じました。

いつものことながら知らない本の紹介は興味深く、知っている本の紹介は聞いているだけで嬉しくなります。参加された皆さま、ありがとうございました！まだの方もぜひお気軽にご参加ください。

※変更となる場合があります。HP等をご確認ください。
次回は 8月16日(日)午前11時からの予定です。